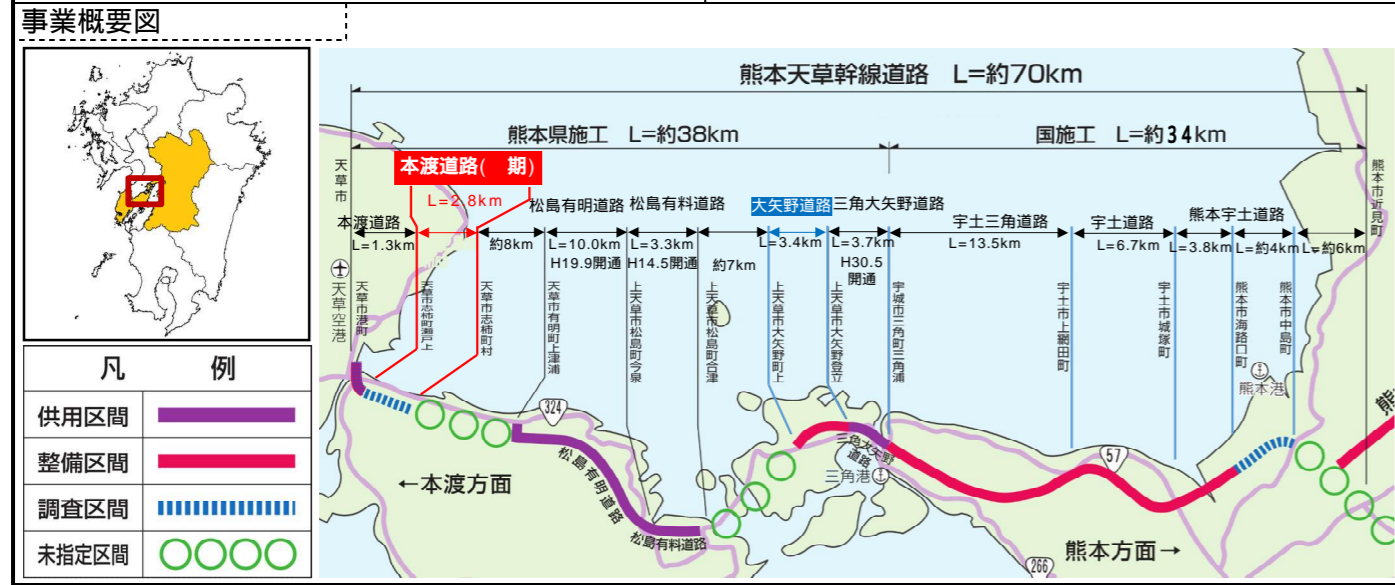


新規事業採択時評価結果（令和5年度新規事業化箇所）

担当課：道路局 国道・技術課
担当課長名：長谷川 朋弘

事業の概要

事業名	地域高規格道路 熊本天草幹線道路 一般国道324号 本渡道路 期	事業区分	一般国道	事業主体	熊本県
起終点	自：熊本県天草市志柿町 至：熊本県天草市志柿町	延長	2.8 km		
事業概要	熊本天草幹線道路は熊本県熊本市と熊本県天草市間を結ぶ延長 70km の地域高規格道路として計画されており、熊本市と県内主要都市を 90 分で結ぶ構想(90 分構想)の実現に必要な主要幹線道路である。 計画区間は、熊本天草幹線道路の一部として、上述の役割を果たすとともに、慢性的な交通渋滞の解消、アクセス性の向上等を目的とし、天草市志柿町区間の延長約 2.8 km を整備するものである。				
事業の目的、必要性	国道 324 号は、熊本市と天草市を結ぶ大動脈であり、天草地域にとって重要な路線である。慢性的な渋滞や速達性の確保が課題である本渡道路 期区間は、地域と拠点間の連絡、道路ネットワーク形成による交通分散など整備効果の早期発現が必要である。当該事業の整備により、慢性的な交通渋滞の解消やアクセス性の向上など、天草地域の人流・物流・観光・地域産業の活性化が期待される。				
全体事業費	248 億円	計画交通量	11,000 台/日		



関係する地方公共団体等の意見
熊本天草間幹線道路整備促進期成会（5市1町、会長：天草市長）及び熊本天草幹線道路整備促進協議会（会長：本渡商工会議所会頭）により、「本渡道路」区間を含む熊本天草幹線道路の早期整備を要望されている。

学識経験者等の第三者委員会の意見
・熊本県公共事業事前評価により当該箇所の新規事業化は妥当であると了承。

事業採択の前提条件
・費用対便益：便益が費用を上回っている。
・沿線自治体から早期整備の要望を受けており、円滑な事業執行環境が整っている。
・PI検討委員会からの提言により、ルート帯及び概ねのインターチェンジ位置がとりまとめられている。

事業評価結果

費用対便益	B/C	1.6 (1.2)	総費用 380億円 事業費：377億円 維持管理費：3.4億円	総便益 620億円 走行時間縮減便益：546.0億円 走行経費減少便益：63.0億円 交通事故減少便益：12.0億円	基準年 令和4年
	感度分析の結果	交通量変動	B/C=1.5 (交通量 -10%)	B/C=1.8 (交通量 +10%)	
	事業費変動	B/C=1.6 (事業費 +10%)	B/C=1.7 (事業費 -10%)		
事業の影響	自動車や歩行者への影響	渋滞対策	・通過交通の分散により慢性的な渋滞が解消される。 ・慢性的な渋滞箇所（天草市瀬戸町～天草市志柿町）の渋滞解消 ・並行する現道区間の旅行速度（平均旅行速度 28.4km/h）の向上 ・並行する現道の混雑（混雑度 1.31）緩和		
		事故対策	・通過交通の排除による並行区間の事故件数の減少が見込まれる。 ・死傷事故率 並行する現道(国道 324 号)区間：約 27 件/億台 km (現況) ・沿道出入りが多く交通混雑が見られる現道区間において、通過交通が排除されることで、事故が削減する		
		歩行空間	・注目すべき影響はない		
	社会全体への影響	住民生活	・第三次救急医療施設「済生会熊本病院」へのアクセス向上		
		地域経済	・年間440万人の観光客が訪れる天草地域へのアクセス向上 ・熊本県内漁獲量の約9割を占める天草地域の水産物の市場拡大		
		災害	・災害危険箇所を回避し、緊急輸送道路の機能を強化 ・救急救援活動や物資輸送等に資する円滑な通行の確保		
環境	・注目すべき影響はない				
地域社会	・熊本市～天草市間の交流・連携の強化に寄与				
事業実施環境	・PI検討委員会を実施し、ルート及び概ねのインターチェンジ位置を取りまとめた提案書が提出されている。				

採択の理由

事業主体である熊本県が実施した評価結果に基づけば、費用便益比が 1.6 と便益が費用を上回っており、事業採択の前提条件が確認できる。
また、天草地域の人流・物流・観光・地域産業の活性化や道路ネットワークの構築などが見込まれることから、当該事業の整備の必要性・効果は高いものと判断される。
以上により、本事業は令和5年度新規事業箇所として妥当であると考えられる。

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
B/Cの上段は、天草市港町～同市志柿町村を対象とした場合、下段()書きの値は、事業区間を対象とした場合の費用便益分析結果。